

芸術文化都市さっぽろのシンボル

札幌芸術の森

人口が189万になるうとする大都市の市域に、ヒグマが数十頭も生息しているという都市は世界にはない。札幌の広大な市域の約60%は原始の山と湖沼であって、いまなお溢れるような野生の自然に取り囲まれている。札幌芸術の森はそんな森と丘陵の中にある。

「札幌が目指す理想都市は『さっぽろ』」

わずか2戸からはじまった札幌の歴史は、明治2年、北海道開拓使による札幌本府の創設にはじまり、140年で日本第5位の大都市へと発展した。終戦時の人口が20万だったことからみても、その成長ぶりはめざましい。1982年、札幌は世界の北方圏の都市に呼びかけ、第1回北方都市会議を主催、それ以来、都市の融雪道路、ドームつきの地下鉄、気象衛星利用の除雪対策といったハードな事業、雪を逆手にとった雪まつり、市民参画によるYOSAKOIソーラン祭りなどのソフトな事業によって、その先駆性を内外に示し続けた。札幌はその



有島武郎旧邸 札幌に縁の深い作家の邸宅を移築 資料を展示

対策といったハードな事業、雪を逆手にとった雪まつり、市民参画によるYOSAKOIソーラン祭りなどのソフトな事業によって、その先駆性を内外に示し続けた。札幌はその

立地に起因する厳しい現実に直面しつつも、明治以来の気宇壮大な都市創造の理念をいまでも失わず、その個性を絶え間なくアピールしている。

「札幌ならではの広大な自然空間」

市営地下鉄南北線の真駒内、かつて冬季オリンピックの選手村だった「五輪団地」を抜けて間もなく、清冽な流れの真駒内川の右手に札幌芸術の森が見える。総面積約40ha、森と丘陵に包まれた敷地にあり、1984年から3期にわたって整備が進められ、美術、工芸、音楽、舞台芸術などを網羅した、全国でも稀な総合的な芸術文化環境が形成されている。入口近くの池には、フランスの彫刻家マルタ・パンの作品が空の白い雲とともに水面にゆらめき、池の周りには染色・織物の「工芸館」、電のある「ガラス・陶工房」、そして「木工房」など親しみやすい木造の建物が建っている。設備が整った館内のスタジオでは制作にいそむる



風にゆらめくフランスの彫刻家マルタ・パンの作品 今年の冬は美術館に移されて展示



水辺に浮かぶような芸術の森美術館 内外の近・現代彫刻と札幌ゆかりの画家の作品を収蔵 随時企画展を開催



収蔵作品「バラ色のテーブル」など 札幌在住の女流画家 八木伸子の作品



陶芸・染色・七宝などの受講生で賑わうクラフト工房

て制作したことから、四季の表情を映しこみながら、個々の作品が力強くその存在を主張している。美しい白樺やドイツウヒなどの針葉樹林と芝生を背景に73点の作品が佇み、人々は彫刻のある庭園ともいえる美しい環境に溶け込んで時間と空間を楽しんでいる。目をひくのがイスラエル生まれの彫刻家ダニ・カラヴァンの300mに及ぶ作品「隠された庭への道」で、ひろく話題を呼んだ。また積雪が2m近くになる冬期にもこの彫刻群を楽しんでもらおうと、連日「かんじきウォーク」を実施。その意欲的な試みが来訪者にも評価が高い。

「札幌から音楽を世界に発信する」

レストランのある「芸術の森センター」

の奥の「アートホール」には、近年声価が高い札幌交響楽団の練習場として音響効果の優れた「アリーナ」があり、さらに数多くのスタジオが用意されていて、音楽を学び楽しむ学生や若者たちの奏でる音が館内に響いている。この先の白銀の翼を拡げたような「野外ステージ」では、たびたび内外のアーティストによるコンサートが開かれ、イス・芝生あわせで4500もの席は興奮の渦に包まれる。この札幌芸術の森の特性は、鑑賞、発表、制作、研修、情報、交流などの機能がすべて一カ所に整えられ、札幌市民だけでなく道内各地や本州、そして海外とも連携しながら一体的な芸術環境を形づくり、それぞれの領域で若い世代がいきいきと育ちはじめていることである。なかでも特筆すべきは日本最大のジャズフェスティバルへと成長したサツポロシティジャズで、その端緒となったのが「野外ステージ」での公演だった。今年のフェスティバルは北海道洞爺湖サミットが開催されることから、音楽を通じた環境

への貢献がテーマに選ばれている。夏にはオーストラリア、カナダをはじめ、トップクラスのジャズメンたちが世界からやってきて、この札幌芸術の森や都心の大通公園、中島公園など、市内各所を会場に華々しくジャズの世界が繰り広げられる。「アートホール」では、すでにアメリカ・ボストンの世界最大の音楽大学であるパークリー音楽院の教授たちを講師とするジャズセミナー 北海道グループ キャンプが開催され、またジュニアジャズスクールに通う子供たちも大事そうに楽器を抱えて行き交っている。

札幌市では先年、札幌市立大学デザイン学部を札幌芸術の森の隣地に立地させ、他では見られない充実した教育環境を整備した。これらから、文化の世紀、デザインの世界といわれる21世紀に活躍する若い才能が、この地札幌から続々と巣立って行くのではなからうか。北の国の芸術文化都市さっぽろの明日に大きな期待の目が集まっている。



音響効果の良いアリーナ等 多くのスタジオがあるアートホール



アートホールのロビーには珍しいアフリカや中国の民俗楽器を展示



アリーナでの札幌交響楽団のリハーサル風景 指揮:尾高忠明



札幌ジャズフォレスト 芝生席もギッシリの会場 野外ステージ



子供たちが熱演 札幌ジュニアジャズスクールのコンサート



芸術の森の隣地に立地 札幌市立大学デザイン学部キャンパス



フィンランドの彫刻家ライモ・トゥリアイネンの作品 芸術の森センター シンボル広場